

平成28年度 消費生活相談の概要

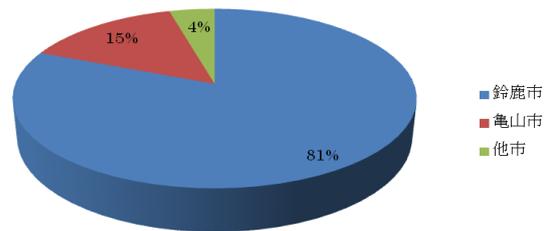
1. 相談の状況

○相談総件数

1, 436件 (119件/月)
前年度比5.2%, 79件減

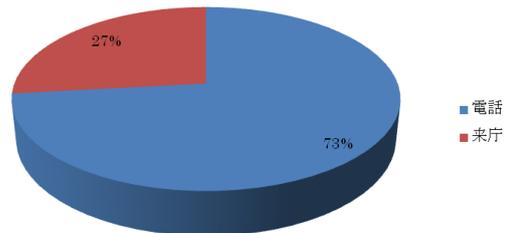
○相談者の住所別

鈴鹿市 1,165件
亀山市 210件
他市 61件



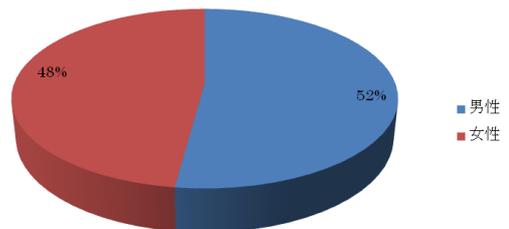
○相談方法別

電話による相談 1,052件
来所による相談 384件



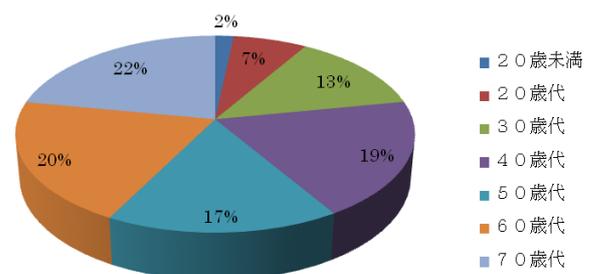
○性別

男性 748件
女性 688件



○年代別

20歳未満 25件
20歳代 99件
30歳代 192件
40歳代 276件
50歳代 236件
60歳代 291件
70歳以上 317件



○弁護士相談件数

78件

2. 相談の内容

○電子媒体（パソコン・携帯電話）における架空請求：276件（前年度334件）

パソコンや携帯電話の画面をクリックしただけでアダルトサイトに登録され、登録料を請求するなどの悪質サイト業者による架空請求や不当要求に関する相談で、幅広い年齢層で上位を占めています。

○インターネット通信サービスに関する相談：108件（前年度84件）

大手電話会社を騙り、「この辺り一帯が光回線になり電話料金が安くなる」などと電話勧誘による契約や、遠隔操作によるプロバイダ契約の変更が行われたなどの相談です。

○住宅リフォーム，新增築に関する相談：72件（前年度62件）

高齢者を狙った悪質な訪問販売(屋根工事，住宅リフォーム)や，住宅の新增築トラブルに関する相談です。

○不動産等賃借に関する相談：67件（前年度69件）

アパートの退去時における多額の修繕費の請求や，賃貸住宅の修繕トラブルに関する相談です。

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：62件（前年度80件）

不審な電話や訪問があった，架空請求のハガキが届いたなどの相談です。

3. 啓発活動

○出前講座

公民館，老人会，老人福祉施設，障害者相談支援センター等

鈴鹿市 47回（1,710人）

亀山市 25回（1,095人）

合計 72回（2,805人）